の一撃
総得点上回る

ン。5度目
トーナメン
トを揺らし
「この素晴らしい瞬間を多くの人と共有できて幸せだ」と悦に入った。

11月30日の1次リーグ最終戦から中2日。ボールを持っても打開できない状況が続いていた前半35分、右サイドで仕掛けた。マカリテルにボールを預けて中に切り込み、オタメンディが落としたところに走り込む。相手選手4人に囲まれながら、左足で放ったシュートはDFの股間を抜けてゴールに吸い込まれた。各国メディアはこの一戦が代表とクラブを合わせたプロキャリアで通算千試合目と報じた。積み上げた得点は789に及んでも「試合数は今日知った。家族やサポーター、周囲の支えのおかげだ」と謙虚さを忘れない。

小柄ながら左足で相手を次々とかわしてゴールを量産する。その姿は、1986年大会で優勝を勝ち取った英雄マラドーナと常に比較され「2世」と呼ばれてきた。偉大な先輩を、W杯の出場試合数に続き、総得点9でも上回った。

9日の準々決勝で、準優勝した2014年大会の準決勝でぶつかったオランダと再び顔を合わせる。「ここからさらに厳しくなるが、最善の準備をするだけ」と覚悟は十分。自身が唯一手にしていないW杯のタイトルへ、着実に近づいている。（共同）

アルゼンチン―オーストラリア　前半、先制ゴールを決めるアルゼンチンのメッシ（共同）

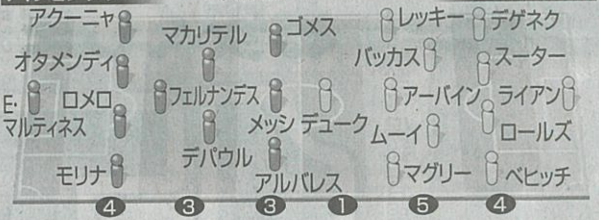
決勝トーナメント　1回戦　アハマド・ビン・アリ競技場・観衆4万5032人

3位 アルゼンチン（C組1位）	FIFAランキング	オーストラリア 38位（D組2位）
2	1 前半 0 1 後半 1	1

アルゼンチン		オーストラリア
メッシ（前半35分） アルバレス（後半12分）	得点	オウンゴール（後半32分）
ゴメス→Li・マルティネス（後半５分） アルバレス→La・マルティネス、 アクーニャ→タリアフィコ（後半26分） マカリテル→モンティエル、 モリナ→パラシオス（後半35分）	交代	マグリー→グッドウィン、 バッカス→フルスティッチ（後半13分） レッキー→クオル、 デューク→マクラーレン、 デゲネク→カラチッチ（後半26分）
	警告	■アーバイン、デゲネク

	アルゼンチン	オーストラリア
ボール保持率	55%	35%
シュート	14	5
C K	1	3
F K	15	11

アルゼンチン　先発メンバー　オーストラリア



【評】アルゼンチンが効率よく得点した。前半35分にメッシが味方との好連係から左足で先制。後半12分にデパウルの前線からのプレスでGKライアンのミスを誘って奪い、アルバレスが流し込んで追加点を挙げた。攻め手の少なかったオーストラリアは後半32分にグッドウィンのシュートが相手に当たって入るオウンゴールで1点を返したが及ばなかった。（共同）

プロボクシング　3タイトル戦

23歳小林が新王者
アジア太平洋　大差の判定勝ち

プロボクシングの3タイトル戦は4日、大阪市のエディオンアリーナ大阪であり、世界ボクシング機構（WBO）アジア・パシフィック・ミニマム級王座決定戦は、日本同級4位の小林豪己（真正）がアジア・パシフィック同級1位のマルコ・ジョン・リメンツォ（フィリピン）を3－0の判定で下し、新王者となった。小林は通算5戦5勝（3KO）。

日本ライトフライ級王座決定戦は、同級2位の芝力人（真正）が1位冨田大樹（ミツキ）と引き分けた。東洋太平洋同級王座決定戦は、同級3位の42歳堀川謙一（三迫）が2位ジョイ・カノイ（フィリピン）に7回1分1秒TKOで屈した。

9回、場内の「豪己コール」に背を押された小林は猛然と前進。世界ランカーのフィリピン選手をコーナーに追いつめ、連打でダウンを奪った。

大差での判定勝ち。11日に24歳を迎える新鋭はプロ5戦目で王座に就き「こんなに早く取れるとは。いい流れ、いい運があった」と謙虚だった。

「たまたまだった」という左ボディーが序盤、サウスポーの相手に刺さり、うめき声が聞こえた。打ち終わりにカウンターを浴びないよう、短いパンチでポイントを稼ぐ。「僕より気が強い」というキックボクサーの妹の声援に結果で応えた。

加古川市出身。神吉中では長距離ランナーとして心肺機能を鍛え、3年でボクシングを始めた。相生学院高時代は全国高校総体で経験を積み、芦屋大で高みを目指した。

この日の勝利で世界ランキング入りが濃厚となり「（最軽量の）ミニマム級でも面白く、そして倒せるボクシングをしたい」とリングで宣言した。（藤村有希子）

9回、コーナーに追い込み連打する小林豪己（右）＝撮影・秋山亮太

芝は引き分け　日本王座逃す
ライトフライ級

打ち合いをドローで終えた芝は、腫れた顔をさらし「自分のレベルが低い。情けない」と繰り返した。2度目の日本王座挑戦も実らなかった。

4回、ラッシュで襲いかかるも相手がクリンチでしのいできて、仕留めきれず。得意のカウンターでダメージを与えた一方で、自らも顔に強打を食らい続けた。

大阪府枚方市出身の元近大主将は、27歳になった。「勝たないと先はない」とベルト奪取を足がかりに突き抜ける決意だったが、不本意な結果に「先が見えなくなった」と悔しさをあらわにした。（藤村有希子）

▽日本ライトフライ級王座決定戦10回戦
芝力人（真正）48・9キロ　引き分け　冨田大樹（ミツキ）48・9キロ
▽東洋太平洋ライトフライ級王座決定戦12回戦
ジョイ・カノイ（フィリピン）48・1キロ　TKO7回1分1秒　堀川謙一（三迫）48・9キロ
（カノイは新王者）
▽WBOアジア・パシフィック・ミニマム級王座決定戦10回戦
小林豪己（真正）47・5キロ　判定　マルコ・ジョン・リメンツォ（フィリピン）47・4キロ
（小林は新王者）

◆プロボクシング（3日・後楽園ホール）
▽WBOアジア・パシフィック、日本フェザー級タイトルマッチ12回戦
阿部麗也（KG大和）57・0キロ　判定　前田稔輝（グリーンツダ）57・0キロ
（阿部は初防衛）

元世界王者、久保引退式
「ボクシングは人生の教科書」

3タイトル戦に先駆け、元世界ボクシング協会（WBA）スーパーバンタム級王者、久保隼（真正）の引退式が行われた。32歳のサウスポーは「ボクシングは人生の教科書。今後は僕にしかできないことをしたい」と語り、惜別の10カウントゴングを聞いた。

京都市出身で、東洋大を経てプロ転向。長いリーチを生かしたアウトボクシングで東洋太平洋同級王座を獲得、2度防衛した。2017年、WBA同級タイトル戦でネオマール・セルメニョ（ベネズエラ）をTKOで破り、世界王者となった。

この日、スーツ姿でリングに上がった久保は「神戸と地元の京都に恩返ししたい。来春ごろ、フィットネスジムのオープンを目指している」とあいさつ。同門の元世界王者山中竜也と、世界3階級を制した長谷川穂積さんから花束を受け取った。（藤村有希子）

引退式で長谷川穂積さん（右）、山中竜也（左）と記念撮影に納まる久保隼（中央）＝大阪市浪速区、エディオンアリーナ大阪（撮影・秋山亮太）

ボウル
大VS早大

代表の西南学院大に大勝。早大は東北代表の東北大を31－0で退けた。関学大は7年連続56度目、早大は3年ぶり7度目の同ボウル出場となる。

▽準決勝

関学大（関西）	49	14	7	14	14
西南学院大（九州）	9	0	0	9	0
早大（関東）	31	14	0	3	14
東北大（東北）	0	0	0	0	0

サッカー

INA
WEリー
W杯刺激、攻撃

サッカー女子のY
ibo　WEリーグは
日、ノエビアスタジア
神戸などで第5節の残
2試合が行われ、IN

約1カ月ぶりのホ
した。2連覇を目指
神戸は今季掲げる「
なサッカー」が機能
朴康造（パク・カンジ
は「いい形で崩し、
かせた」と手応えを
前半に主導権を握
前節から一転、前半
背番号10を担う成宮
り抜いて先制し、勢
2、3点目はいずれ
から。阪口や伊藤の
ール前での勝負に持
熱戦が続くワール
（W杯）カタール大会
受けている。「チー
や諦めない気持ちは、
が取り組むサッカー
ている」と成宮。試
席へマイクを握った

◆サッカー皇后杯全日
子選手権第4日（4日・
シンコースタジアム丸岡
▽2回戦　東洋大（関
4－0アンジュヴィオレ
（なでしこ）、オルカ鴨川
でしこ）5－0ディオッ
雲（中国）

◆サッカー高円宮杯U
プリンスリーグ関西最
（3日・堺市立サッカー
ショナルトレーニングセ
ー）
阪南大高（大阪）2
都ユース、近江高（滋賀
－0興国高（大阪）、大
蔭高2－2大産大付高
阪）、東海大大阪仰星高
0大阪大高（大阪）、京
高4－1報徳高（兵庫）
終順位　①興国高　勝ち
②京都ユース39③東海大
仰星高38④京都橘高24⑤
高23⑥阪南大高21⑦大阪
19⑧大阪桐蔭高17⑨報徳

手
団

シンプ
い、一気
2大会ぶ
気のない
強に勝ち
トのドゥ
ない華麗
らの批判
が全てだ
ティーを
練習通
1の後半
間に、右
フリスが
サイドに
フリーの
なく押し
督は「美
表れたゴ
オラン
を中心に
ットボー
4年大会
やかさと
堅い戦い
のスタイ